

人と音声AIの共存共栄

を可能にする

フェアトレードシステム

を私たちは作りたい

一般社団法人 日本音声AI学習データ認証サービス機構



概要説明資料

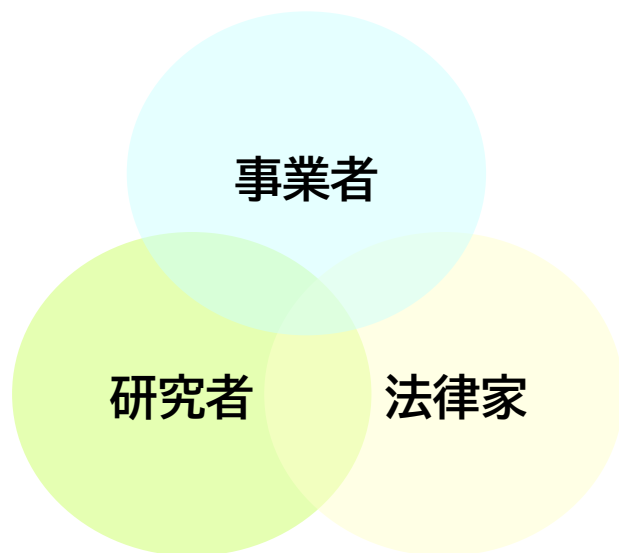
フェアトレードシステムとは…
公平で公正な契約に基づき取引を行う仕組みのことです

AILAS

(読み：アイラス 正式名称：一般社団法人 日本音声AI学習データ認証サービス機構)

「日本で培われ進化をしてきた独自の音声コンテンツ産業の文化的価値が、AIの**無秩序な**開発、活用により**棄損**することを防ぎ、数多の**クリエイターとAIの共存共栄を実現**する」ためにフェアトレードシステムの構築を目指す**非営利活動**を行う**一般社団法人**です。

有志の音声AIの事業担当者、法律の専門家などが中心となり2024年6月に設立されました。



代表理事

事業者: 倉田宜典

東芝デジタルソリューションズ(株)
フェロー



監事

法律家: 田邊幸太郎

三村小松法律事務所
弁護士



理事

事業者: 浅見敬

(株)GADGET
代表取締役



技術顧問

研究者: 徳田恵一

名古屋工業大学
教授



理事

事業者: 伊澤元泰

(株)GNUS



技術顧問

研究者: 高道慎之介

慶應義塾大学
准教授

音声AIってなに？

音声AIの例

AI音声合成



AIボイスチェンジャー



AILASの提案

登録したAI学習用音声をトラッキングする仕組みを構築/運用し、音声AIの健全なビジネス利用を促すフェアトレードシステムをすべてのステークホルダーに向けて提供することを目指します。

無許諾生成AIが社会問題化

→フリーライドビジネスが問題視されている

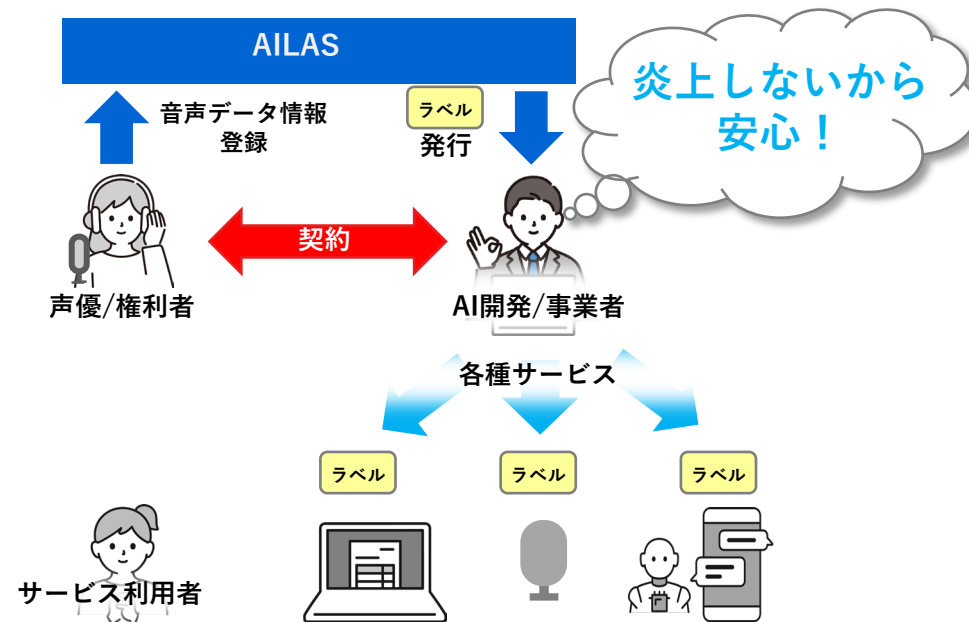
著作権法
AIが著作物を学習
→認めている

コンテンツ・エンタメ事業者
炎上が怖くて
ビジネス利用を控える傾向

一般ユーザー
「無断AIカバー」
が増加

実演家/関係団体
「犯罪行為を抑制する
仕組みがない事は問題」

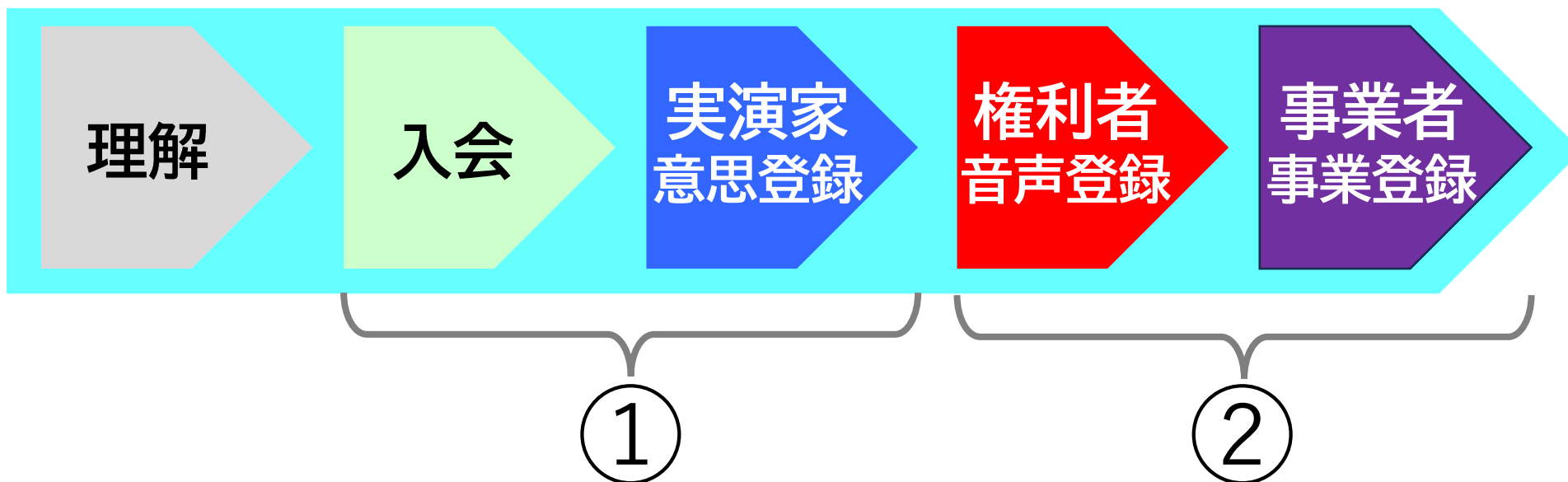
フェアトレードを実現して 市場を拡大



AILASの提案

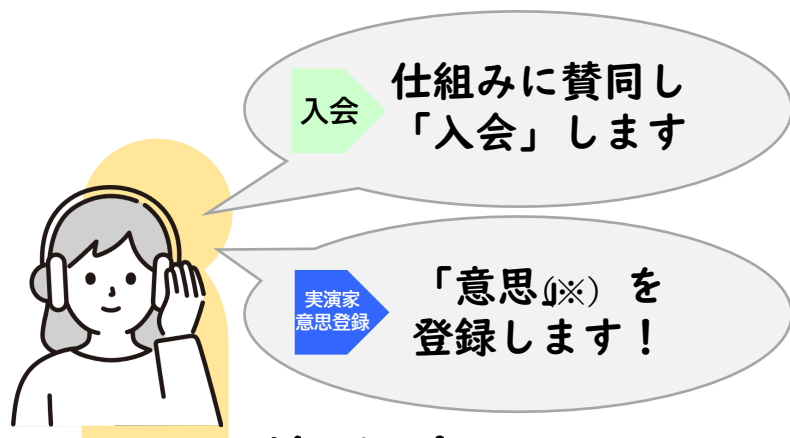
登録したAI学習用音声をトラッキングする仕組みを構築/運用し、音声AIの健全なビジネス利用を促すフェアトレードシステムをすべてのステークホルダーに向けて提供することを目指します。

AILASの活動への参画ステップ





フェアトレードシステムにかかわるすべての利害関係者に賛同、入会してもらいます
また、権利者の方にはAIに対する「意思」を登録してもらいます。



権利者

実演家/音声データ保有者/管理者
プロの声優/ナレーター/タレント
コンテンツ権利保有者
所属事務所/業界団体



事業者

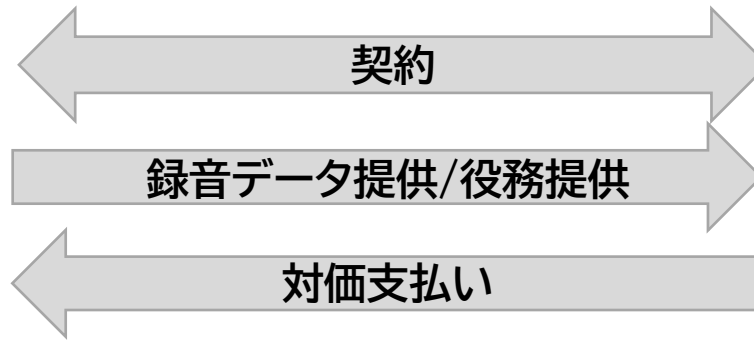
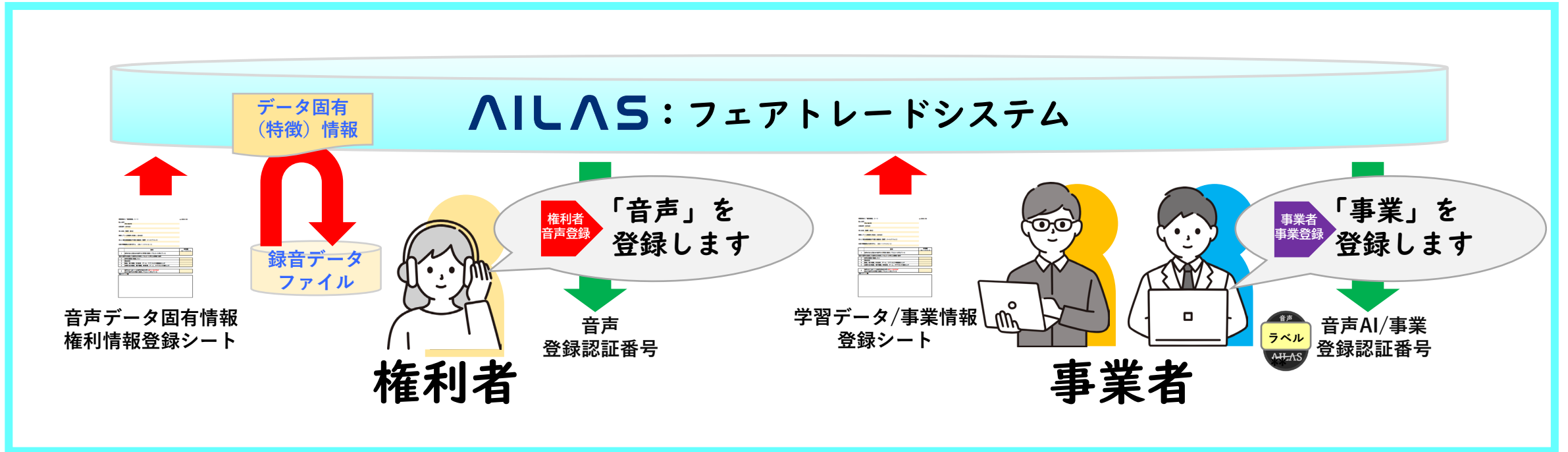
音声AI開発者
生成AI開発会社
研究機関
個人プログラマー

音声AI活用事業者
生成AI事業会社
アプリ開発メーカー
コンテンツ制作会社
ゲーム会社

※意思登録は実演家のみ

②

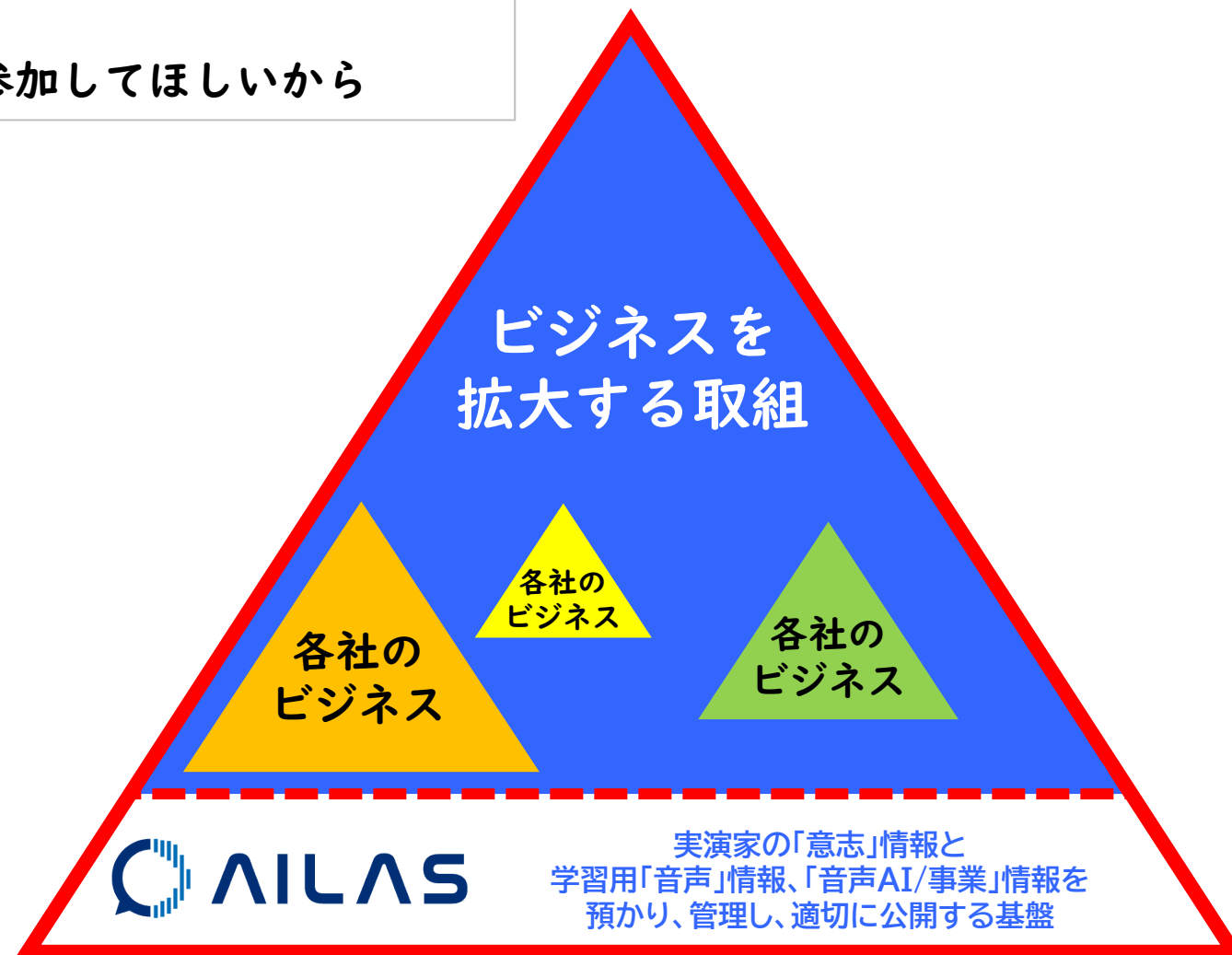
フェアトレードシステムに学習用「音声」、「音声AI/事業」を登録してもらい
学習用音声データの活用状況をトレースできるようにします。



AILASは直接関与しませんが
(ラベル発行時に)
フェアであることを確認します

AILASはなぜ社団法人？

…すべての関係者に参加してほしいから



AILASはなぜフェアトレードシステムを開発するのか？

- 2024年5月に内閣府知的財産戦略推進事務局から提示された「AI時代の知的財産権検討会 中間とりまとめ」内において示された「生成AIと知的財産権との望ましい関係の在り方」に対して賛同
- 利害関係者の理解が得られても、個社で実現するにはコストがかかり、実行するための負担が大きいと考えた

「AI時代の知的財産権検討会 中間とりまとめ」記載の各主体に期待される取組事項例とAILASのサポート

対象者	望ましい取り組みの例	AILASのサポート
AI開発者 AI提供者	・ 法的ルールを踏まえたデータの適正な収集・学習 ・ トレーサビリティの向上 ・ 関連するステークホルダーへの情報提供 ・ 契約に基づくライセンス市場を通じた学習用データの適正な収集(及び対価還元)	○ ○ ○ △支援のみ
権利者 (データ提供者)	・ 追加的な学習（ファインチューニング）のための学習データを提供 ・ 提供先以外によるデータ取得を回避するための工夫 →AI学習に対する意思を記載可能なプラットフォームへの情報掲載	○ ○
AI利用者	・ 知的財産権に配慮しているかを確認した上で利用するか否かを決定 ・ 知的財産法の正しい理解のもと、AI出力結果の事業利用判断を行う	○ ○

開かれた仕組みとして
提供します

現在の状況

権利者である実演家の団体＋マネージメント団体と
具体的な施策の準備を進めています

賛同企業の入会を進めています

本資料に関するお問い合わせ

こちらのメールアドレスにご連絡ください。

ailas_cs@ailas.or.jp

また、よくあるご質問への回答はWEBページにて公開しておりますので
そちらもご活用ください。

<https://ailas.or.jp/>

(WEBページ下部にFAQがございます)